

令和5年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立向台小学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	【思考・判断・表現力】を測る記述式の問題 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力	本校 30.9 全国 26.7 都 28.9	○全体の平均正答率は、全国値よりも6ポイント、東京都よりも4ポイント上回り、良好な結果であった。 ○ほとんどの設問の平均正答率が、全国値を上回る結果となった。	○半分以上の児童が8割程度の得点をとったため、全体の平均正答率が高くなった。今後は、正答率5割以下であった2割程度の児童に対する個に応じた指導の充実を図る必要がある。 ○今回特に課題となった問題は、「書く」力を測るものであった。目的に応じ、キーワードとなる言葉を見つけ、組み合わせて文章をつくる指導を重点的かつ系統的に行う必要がある。 ○目的や意図に応じて、他者の考えと比較しながら自分の考えをまとめる力が不足しているため、今後は、他者の考えと自分の考えを比べながら聞いたり読んだりして、自分の考えを表現する指導を行う。
	【思考・判断・表現力】を測る記述式の問題 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力	本校 66.3 全国 70.2 都 68.6		
算数	【知識・技能】を測る短答式の問題 正三角形の意味や性質について理解しているかを問う問題	本校 32.6 全国 24.9 都 35.2	○全体の平均正答率は、全国値よりも4ポイント、東京都よりは1ポイント低い結果となった。	○全体の40%程度の児童が8割程度の得点をとっている。正答率6割以下であった、3割強の児童に対する基礎基本の徹底と、個に応じた指導の充実を図る必要がある。
	【思考・判断・表現力】を測る記述式の問題 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる力	本校 22.5 全国 20.8 都 29.5	○大体の問題の平均正答率が、全国値を上回る結果となった。	○記述で回答する文章では、正確に問題の意図を捉えられるように指導する必要がある。 ○グラフを読み解く力が全国、都の平均と比べても低い傾向があるので、他教科との関連を図り、図表やグラフを読み取る学習を通して、傾向や違いを表現する指導を行う。
	【思考・判断・表現力】を測る記述式の問題 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述できる力	本校 53.4 全国 56.2 都 56.0		